



平成29年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 シミックホールディングス株式会社
コード番号 2309 URL <http://www.cmic-holdings.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 中村 和男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員CFO

(氏名) 望月 渉

TEL 03-6779-8000

四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	47,978	3.8	2,922	6.4	2,855	17.0	1,025	18.4
28年9月期第3四半期	46,236	13.3	2,745	459.8	2,440		866	

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 2,022百万円 (97.3%) 28年9月期第3四半期 1,025百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	54.82	
28年9月期第3四半期	46.33	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第3四半期	65,014	23,119	34.7	1,205.95
28年9月期	59,104	21,397	35.5	1,122.55

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 22,557百万円 28年9月期 20,995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期		5.00		11.00	16.00
29年9月期		5.00			
29年9月期(予想)				14.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,500	7.2	3,700	10.0	3,420	14.4	1,200	36.5	64.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年9月期3Q	18,923,569 株	28年9月期	18,923,569 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

29年9月期3Q	218,028 株	28年9月期	219,791 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

29年9月期3Q	18,703,881 株	28年9月期3Q	18,699,673 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)自己株式数については、株式給付信託(J-ESOP)が所有する当社株式(28年9月期184,000株、29年9月期3Q 182,000株)を含めて記載しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnet及び当社ウェブサイトで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11
3. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[当連結会計年度の概況]

当社グループは、製薬企業の付加価値向上に貢献する当社グループ独自の事業モデルであるPVC (Pharmaceutical Value Creator) を展開しております。CRO (医薬品開発支援) 事業、CDMO (医薬品製剤開発・製造支援) 事業、CSO (医薬品営業支援) 事業、ヘルスケア事業において、製薬企業の開発、製造、営業・マーケティングのバリューチェーンを広範に支援しております。また、IPM (Innovative Pharma Model) 事業では、当社グループが保有する製造販売業等の許認可とバリューチェーンを組み合わせた新たなビジネスソリューションを製薬会社等に提供しております。

医薬品業界におきましては、ジェネリック医薬品の使用の加速化及び長期収載品の薬価引下げ等を通じた社会保障費抑制策の推進により、厳しい事業環境にあります。政府の総合戦略においても、新薬開発型医薬品企業には革新的な医薬品の創出、ジェネリック医薬品企業には安価で高品質な医薬品の安定供給が求められ、将来を見据えた国際競争力のある産業構造への転換が促されています。また、分子レベルの疾患メカニズム解明や診療技術の進展により個別化医療 (患者個人に対応した治療) の動きが広がっており、医薬品業界でも癌や難病・希少疾患の分野は個別化医療の発展とともに成長分野として期待されています。一方、高額薬剤の適正使用について議論されるなど、製薬企業には医薬品開発費用のより一層の低減化が求められております。科学技術イノベーションの創出に向けた産官学の連携・協力により、新薬開発力強化への取組みが加速するとともに、海外企業による日本市場への参入も増加するなど、開発・製造・販売のスピードアップや効率化を目指したアウトソーシングニーズは、引き続き拡大するものと思われます。

当社グループが属する業界におきましては、このようなアウトソーシングニーズの高まりを受け、企業統合や異業種からの新規参入等の業界再編が進む中、市場規模は中期的に拡大傾向にあります。また、産官学連携を通じた迅速な新薬創出を促進する政策を受け、顧客層はこれまで以上に拡大していくものと見込まれております。

当社グループは、平成27年9月期より「Project Phoenix」 (赤字事業の解消及びコスト構造改革の推進を通じて業績V字回復及び持続的成長の実現を図るプロジェクト) に取り組んでおり、当連結会計年度において創業から25周年という節目を迎え、当社グループ各事業領域の基盤や個々のサービスの一層の強化、事業間シナジーの追求及び顧客との連携強化を図るとともに、PVC機能を活用したソリューションビジネスの実現を目指し、新たな取組みを推進しております。

[売上高及び営業利益]

当第3四半期連結累計期間においては、医療・医薬品産業の変革にスピーディに対応できるソリューションビジネスの推進と、効率経営実現のための組織再編及び人材教育の強化を進めております。当第3四半期連結累計期間の売上高は47,978百万円 (前年同期比3.8%増)、営業利益は2,922百万円 (前年同期比6.4%増) となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。なお、平成28年10月の組織体制の変更に伴い、シミックキャリア株式会社は、報告セグメントをCSO事業からCRO事業に、シミックホールディングス株式会社で行っているIPM事業の一部業務をCRO事業等に変更しております。セグメント別の業績の前年同期比増減額及び率につきましては、当該変更後の区分に基づいて比較しております。

また、第1四半期連結会計期間より、事業実態に合わせて、従来「CMO事業」としていた報告セグメントの名称を「CDMO (Contract Development and Manufacturing Organization) 事業」に、「IPD事業」としていた報告セグメントの名称を「IPM (Innovative Pharma Model) 事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

<CRO事業>

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率%)
売上高	23, 284	24, 838	+1, 553 (+6. 7)
営業利益又は営業損失 (△)	3, 816	4, 280	+464 (+12. 2)

当事業においては、主に製薬企業の医薬品開発支援に係る業務を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、臨床業務における堅調な引合いに応じた人材の確保に努めるとともに、多様化する顧客ニーズに対応するため、更なる専門性と品質向上を目指した人材育成を一層強化しております。平成28年10月に、シミック株式会社に再生医療分野の臨床試験及び臨床研究に特化した再生医療臨床開発部を設立し、迅速かつ安全な再生医療の普及に向けた支援体制の強化に取り組んでおります。

非臨床業務においては、シミックファーマサイエンス株式会社及びCMIC, INC. において、分析化学サービス事業の新規案件獲得に向けた営業活動の強化を推進するとともに、日米の連携を強化し、新規案件の獲得及び米国進出企業の支援体制の構築などに取り組んでおります。また、新設した試験施設において造腫瘍性試験等の安全性試験を実施するなど、再生医療関連事業の拡充を進めております。平成29年4月には、上海復星医薬（集団）股份有限公司（Fosun Pharma）グループと、ジェネリック医薬品許可取得支援を行う合弁会社を中国蘇州市に設立することに合意し、分析ラボ、生物学的同等性試験等の業務開始に向けた準備を進めております。

売上高及び営業利益につきましては、新規受注及び既存案件が堅調に進捗したこと等により前年同期を上回りました。

<CDMO事業>

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率%)
売上高	10, 663	10, 226	△436 (△4. 1)
営業利益又は営業損失 (△)	334	△25	△359 (-)

当事業においては、主に製薬企業の医薬品製剤開発・製造支援に係る業務を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、製剤化検討から治験薬製造、商用生産まで医薬品製造に係る総合的なサービス提供体制の確立を進めております。価格競争力のあるコスト構造への転換に取り組んだことによりジェネリック医薬品等の新規受託が増加するなど、ローコスト生産体制の構築が進展いたしました。また、足利工場において、平成30年10月の稼働に向け新注射剤棟の建設を進めております。

売上高及び営業利益につきましては、顧客の在庫調整の影響等により一時的に生産量が減少したことから、売上高が前年同期を下回り、営業損失を計上しておりますが、新規受注及び既存案件の受託生産が回復していることから、通期では期初計画通りとなる見通しです。

<CSO事業>

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率%)
売上高	5, 581	5, 230	△350 (△6. 3)
営業利益又は営業損失 (△)	443	396	△47 (△10. 7)

当事業においては、主に製薬企業の営業・マーケティング支援に係る業務を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、シミック・アッシュフィールド株式会社において、MR（医薬情報担当者）派遣業務の受注力強化及び既存案件の着実な進行に取り組んでおります。また、顧客ニーズに対応したマルチチャネルのサービス提供を進めることにより、市場シェアの拡大を図っております。

売上高及び営業利益につきましては、MR派遣業務のアウトソーシングニーズが調整局面にあることから、前年同期を下回りました。

<ヘルスケア事業>

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率%)
売上高	5,153	5,915	+762 (+14.8)
営業利益又は営業損失 (△)	107	944	+837 (+782.8)

当事業においては、SMO（治験施設支援機関）業務、ヘルスケア情報サービスなど、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、サイトサポート・インスティテュート株式会社において、SMO業務における営業活動の一層の強化、医療機関ネットワーク拡大への取組みを通じた新規案件の獲得を推進しております。

売上高につきましては、SMO業務の新規案件及び既存案件が堅調に進捗したこと等により前年同期を大幅に上回りました。営業利益につきましても、プロジェクト管理の徹底とコスト削減策の実施を図るなど、経営効率化策を継続したこと等により、前年同期を大幅に上回りました。

<IPM事業>

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率%)
売上高	1,881	1,972	+91 (+4.9)
営業利益又は営業損失 (△)	△109	△343	△234 (-)

当事業は、当社グループが保有する製造販売業等の許認可とバリューチェーンを組み合わせた新たなビジネスソリューションを製薬会社等へ提供する事業であります。現段階では、主にオーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）や診断薬等の開発及び販売に係る業務を行っております。

オーファンドラッグ等事業においては、株式会社オーファンパシフィックが、自社開発品を含むオーファンドラッグ等を販売しております。平成29年4月には、MSD株式会社から販売移管を受けた高インスリン血性低血糖症治療薬の販売を開始するなど、IPM事業の基盤強化に取り組んでおります。診断薬事業においては、当社グループが腎疾患の診断を目的として開発した体外診断用医薬品「ヒトL型脂肪酸結合蛋白キット」の簡易検査（Dip-test）キットの販売を平成28年10月に開始し、販路拡大及びプロモーションの強化に努めております。また、日本に拠点のない海外製薬会社等に対し、当社グループが保有する製造販売業等の許認可とバリューチェーンを提供する新たなソリューションモデルとして、足爪用浸透補修液「ザンミーラネイル」の全国販売を開始しました。

売上高につきましては、オーファンドラッグ等の販売増加等により前年同期を上回りました。一方、営業利益につきましては、「ザンミーラネイル」販売に関する広告宣伝費の増加等により前年同期を下回りましたが、新しいソリューション提供による事業規模拡大に向けて、活発に事業開発活動を行っております。

[経常利益]

当第3四半期連結累計期間の経常利益は2,855百万円（前年同期比17.0%増）となりました。

なお、営業外収益として為替差益及び受取利息等160百万円、営業外費用として支払利息及び持分法による投資損失等227百万円を計上しております。

[親会社株主に帰属する四半期純利益]

当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は1,025百万円（前年同期比18.4%増）となりました。

なお、特別損失として貸倒引当金繰入額等448百万円、法人税等合計として1,249百万円及び非支配株主に帰属する四半期純利益として132百万円をそれぞれ計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比で5,909百万円増加し、65,014百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、有形固定資産並びに投資有価証券の増加等でありま

す。
負債合計は、前連結会計年度末比で4,188百万円増加し、41,895百万円となりました。これは主に、長期借入金

の増加等によるものであります。
純資産合計は、前連結会計年度末比で1,721百万円増加し、23,119百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月7日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,069	5,892
受取手形及び売掛金	10,731	11,887
商品及び製品	486	764
仕掛品	3,368	3,413
原材料及び貯蔵品	1,430	1,546
その他	3,723	3,788
貸倒引当金	△10	△11
流動資産合計	24,799	27,281
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,911	10,450
土地	6,298	6,158
その他（純額）	8,845	10,962
有形固定資産合計	25,055	27,571
無形固定資産		
のれん	1,093	826
その他	1,274	1,126
無形固定資産合計	2,367	1,952
投資その他の資産		
投資有価証券	1,376	3,218
敷金及び保証金	1,630	1,622
その他	4,145	3,960
貸倒引当金	△268	△592
投資その他の資産合計	6,883	8,209
固定資産合計	34,305	37,733
資産合計	59,104	65,014

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	953	1,238
1年内償還予定の社債	50	-
短期借入金	2,250	1,260
1年内返済予定の長期借入金	2,783	2,212
コマーシャル・ペーパー	2,000	5,000
未払法人税等	1,007	178
賞与引当金	2,054	603
役員賞与引当金	49	-
受注損失引当金	402	447
その他	8,310	8,853
流動負債合計	19,861	19,792
固定負債		
長期借入金	9,002	13,017
退職給付に係る負債	6,325	6,794
その他	2,517	2,290
固定負債合計	17,846	22,102
負債合計	37,707	41,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,087	3,087
資本剰余金	7,715	7,715
利益剰余金	10,596	11,322
自己株式	△265	△265
株主資本合計	21,134	21,859
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	414	878
為替換算調整勘定	△143	3
退職給付に係る調整累計額	△409	△183
その他の包括利益累計額合計	△138	698
非支配株主持分	401	561
純資産合計	21,397	23,119
負債純資産合計	59,104	65,014

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)
売上高	46,236	47,978
売上原価	36,202	37,420
売上総利益	10,033	10,558
販売費及び一般管理費	7,287	7,636
営業利益	2,745	2,922
営業外収益		
受取利息	25	14
為替差益	-	95
受取補償金	21	-
その他	64	51
営業外収益合計	111	160
営業外費用		
支払利息	112	92
為替差損	196	-
持分法による投資損失	54	81
その他	54	53
営業外費用合計	417	227
経常利益	2,440	2,855
特別損失		
固定資産売却損	1	27
固定資産除却損	37	99
減損損失	11	-
支払補償金	103	-
貸倒引当金繰入額	-	321
特別損失合計	153	448
税金等調整前四半期純利益	2,287	2,407
法人税、住民税及び事業税	844	897
法人税等調整額	422	351
法人税等合計	1,267	1,249
四半期純利益	1,019	1,158
非支配株主に帰属する四半期純利益	153	132
親会社株主に帰属する四半期純利益	866	1,025

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	1,019	1,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	148	463
為替換算調整勘定	△234	161
退職給付に係る調整額	91	239
その他の包括利益合計	5	864
四半期包括利益	1,025	2,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	893	1,862
非支配株主に係る四半期包括利益	131	159

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	CRO事業	CDMO事業	CSO事業	ヘルスケア 事業	IPM事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	23,152	10,642	5,452	5,109	1,879	46,236	-	46,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	132	20	129	43	1	327	△327	-
計	23,284	10,663	5,581	5,153	1,881	46,563	△327	46,236
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	3,816	334	443	107	△109	4,591	△1,845	2,745

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,845百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	CRO事業	CDMO事業	CSO事業	ヘルスケア 事業	IPM事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	24,755	10,144	5,230	5,878	1,971	47,978	-	47,978
セグメント間の内部 売上高又は振替高	82	82	0	37	1	203	△203	-
計	24,838	10,226	5,230	5,915	1,972	48,182	△203	47,978
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	4,280	△25	396	944	△343	5,251	△2,329	2,922

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△2,329百万円には、セグメント間取引消去等△3百万円、各報告セグメントへ配分していない全社費用△2,326百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、平成28年10月の組織体制の変更に伴い、シミックキャリア株式会社はCSO事業からCRO事業に、シミックホールディングス株式会社はIPM事業の一部業務をCRO事業等に、シミックCMO株式会社はCDMO事業の一部業務をIPM事業に報告セグメントをそれぞれ変更しております。また、報告セグメントの名称をCMO事業からCDMO (Contract Development and Manufacturing Organization) 事業に、IPD事業からIPM (Innovative Pharma Model) 事業にそれぞれ変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、組織体制変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 補足情報

受注の状況

受注実績

(単位：百万円)

報告セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)		前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
CRO事業	24,833	44,636	34,358	55,190	34,174	45,586
CDMO事業	10,845	3,467	10,939	4,084	14,179	3,289
CSO事業	2,979	4,529	2,735	3,099	5,824	5,594
ヘルスケア事業	5,605	9,404	4,933	8,545	7,415	9,490
合計	44,263	62,039	52,966	70,920	61,593	63,961

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しております。
3. CDMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみを計上しております。顧客から提示を受けている年間ベースでの発注計画等は、確定注文とは異なりますので受注残高には含めておりません。
4. 前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度における受注高及び受注残高は、組織体制変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。
5. IPM事業は受託事業と業態が異なるため、受注の状況から除外しております。